

# 大山レポート

▶ COVER STORY

## 半導体企業

## 68社の通信簿

財務評価では分からない  
企業の真価と将来性

▶ MARKET DATA 世界半導体市場は勝ち組と負け組が鮮明に、メモリC市場はDRAM不足で急拡大

世界半導体市場動向／ディスクリート半導体の市場動向／光半導体の市場動向／センサ/アクチュエータ半導体の市場動向／アナログICの市場動向／マイクロ(MPUとMCU)の市場動向／ロジックICの市場動向／メモリCの市場動向／半導体製造装置とメモリCの市況の相関／半導体製造装置の地域別出荷額／台湾TSMCの業績／米Intelの業績／米NVIDIAの業績／米AMDの業績／米Broadcomの業績／米Qualcommの業績／韓国Samsung Electronicsの業績／韓国SK hynixの業績／米Texas Instrumentsの業績／スイスSTMicroelectronicsの業績／独Infineon Technologiesの業績／ルネサス エレクトロニクスの業績／東京エレクトロンの業績／オランダASMLの業績／米Applied Materialsの業績／ファウンドリ企業のウエハ価格推移(40n~130nm)／ファウンドリ企業のウエハ価格推移(16n~28nm)／ファウンドリ企業のウエハ価格推移(5nm, 7nm)

# 大山レポート

2026年第1四半期号 No.7

【A4判 全32ページ】

## CONTENTS

### COVER STORY

半導体企業68社の通信簿  
財務評価では分からない企業の真価と将来性 ..... 3

### MARKET DATA

世界半導体市場は勝ち組と負け組が鮮明に、  
メモリC市場はDRAM不足で急拡大 ..... 15

世界半導体市場動向 ..... 17

ディスクリート半導体の市場動向 ..... 17

光半導体の市場動向 ..... 18

センサ/アクチュエータ半導体の市場動向 ..... 18

アナログICの市場動向 ..... 19

マイクロ(MPUとMCU)の市場動向 ..... 19

ロジックICの市場動向 ..... 20

メモリCの市場動向 ..... 20

半導体製造装置とメモリCの市況の相関 ..... 21

半導体製造装置の地域別出荷額 ..... 21

台湾 TSMCの業績 ..... 22

米 Intelの業績 ..... 22

米 NVIDIAの業績 ..... 23

米 AMDの業績 ..... 23

米 Broadcomの業績 ..... 24

米 Qualcommの業績 ..... 24

韓国 Samsung Electronicsの業績 ..... 25

韓国 SK hynixの業績 ..... 25

米 Texas Instrumentsの業績 ..... 26

スイス STMicroelectronicsの業績 ..... 26

独 Infineon Technologiesの業績 ..... 27

ルネサス エレクトロニクスの業績 ..... 27

東京エレクトロンの業績 ..... 28

オランダ ASMLの業績 ..... 28

米 Applied Materialsの業績 ..... 29

ファウンドリ企業のウエハ価格推移(40nm ~ 130nm) ..... 29

ファウンドリ企業のウエハ価格推移(16nm ~ 28nm) ..... 30

ファウンドリ企業のウエハ価格推移(5nm, 7nm) ..... 30

### NOTICE

- 「プロフェッショナルのための半導体情報 大山レポート」は、半導体やその関連材料、部材、装置などの製造、流通、調達に関わる担当者、そして半導体業界の調査分析に携わる投資家、金融機関、証券会社、調査会社、コンサルティング・ファーム、研究機関などを含む「プロフェッショナル」の方々のための半導体情報誌です。価格は8万8000円(税込)です。
- 年4回(3月、6月、9月、12月)の発行を予定しています。
- ご購入いただいた方には、下記のURLでの読者登録をお勧めしております。登録いただいた読者のみなさんには、編集長である大山 聡が提供するコンサルティング・サービスや登壇するセミナー、出演するYouTube番組などの情報を随時お届けします。(読者登録ページ URL <https://grossberg.jp/oyama-report/>)

次号予告(2026年第2四半期号 No.8、2026年6月発行予定)

### 「絶好調のDRAM、その先に潜む大暴落の罠」

※内容は変更になることがあります。

### 大山 聡 (おおやま・さとる) グロスバーク合同会社 代表



慶應義塾大学大学院にて管理工学を専攻し、工学修士号を取得。1985年に東京エレクトロンに入社。1992年に日本データクエスト(現ガートナージャパン)に入社し、半導体産業分析部でシニア・インダストリ・アナリストに就任。

1996年にBZWジャパン証券(現パークレイズ証券)に入社し、証券アナリストとしてアドバンテスト、NEC、三洋電機、シャープ、ソニー、東京エレクトロン、東芝、ニコン、日立製作所、三菱電機、富士通、松下電器産業(社名はすべて当時)など大手電機メーカーの調査/分析を担当した。その後もエービーエヌ・アムロ証券、リーマン・ブラザーズ証券などで産業エレクトロニクス分野のアナリストとして活躍。日経アナリストランキング産業用電子機器部門で第4位(1999年)、第5位(2000年)。2004年に富士通に入社し、電子デバイス部門 経営戦略室の主席部長として半導体部門の経営戦略や分社化などを担当。2010年以降はアイサプライ・ジャパン(2010年にIHSグローバルが買収、現在はOmdia)で半導体や2次電池をはじめとするエレクトロニクス分野全般の調査/分析を担当。2017年に調査およびコンサルティングを主務とするグロスバーク合同会社を設立して代表に就任(現職)。

# 大山レポート

2026年第1四半期号(2026年3月27日発行) No.7

ISBN978-4-9913715-8-5

編集長 大山 聡

企画編集 三好 敏 山下勝己(観瀨舎)

校正 杉山典子(観瀨舎)

クリエイティブディレクション 奥村 毅正(TSTJ Inc.)

アートディレクション 出羽伸之(TSTJ Inc.)

デザイン 真崎琴実 星野 絢香(TSTJ Inc.)

制作 TSTJ Inc.

発行 グロスバーク

発売 観瀨舎

販売等に関するお問い合わせ

e-mail: [oyama\\_report@kantosha.com](mailto:oyama_report@kantosha.com)

©2026 グロスバーク

